

実習生へのしおり

■基本理念■

温もりある地域社会の創造

～安心・笑顔・希望のある人生の応援～



社会福祉法人 浦安荘

救護施設 浦安荘

【実習にあたって】

救護施設「浦安荘」では、社会福祉の実践を学ぶ場として、皆さんを実習生として受け入れています。ここでは、約 80 名の障がいのある方が生活しており、実習生はその支援の現場を体験します。

特別な対応は難しい場合もありますが、積極的に学び取る姿勢があれば、私たちも全力で応援します。実習に臨むにあたり、自分のテーマを持参してください。

利用者のニーズは多様です。常に「自分ならどうするか？」を考え、職員と積極的に意見交換してください。

【実習全般について】

1. 服装

- 実習中の服装はジャージ以外であれば自由ですが、動きやすい服装を選んでください。
- 地域や他機関を見学する場合は、節度ある服装を心がけてください。
- 下着が透けたり露出が多かったりする服装は避けてください。
- 装飾品については、利用者や自身がけがをする恐れのあるものは身につけないでください。破損・紛失について当施設は責任を負いません。
- 上履きはスリッパ以外の安全なものを各自で用意してください。

2. 持ち物

- 各自の持ち物は自己管理してください。下駄箱やロッカーの管理にも気をつけましょう。
- 貴重品は必要最低限にとどめ、ロッカーに保管してください。
- 実習中に記録したメモや個人情報は厳重に管理してください。
- 更衣室の入室には、支援員マスター錠を使用します。取り扱いには十分注意してください。
- 実習時間中の携帯電話・スマートフォンの使用および所持は禁止です。緊急時は職員の許可を得て使用してください。所持はロッカー内に保管してください。
- 職員は緊急対応のため、携帯電話・スマートフォンを所持しています。

3. 実習時間

- 原則として 8:15～17:15 (変更あり)
- 時間は厳守し、学びを最大限に活かしてください。

4. 日程の変更

- やむを得ない事情で欠席・遅刻・早退が必要な場合は、事前に実習受入責任者へ連絡してください。
- 当日に事故などで出勤できない場合は、必ず連絡を入れてください。
- 担当教員への連絡も忘れずに行ってください。

5. 実習費用

- ・ 食事代:朝 250 円、昼・夕 460 円(要事前注文)。
- ・ 駐車代:50 円／日(公共交通機関推奨)。
- ・ 実習費用は、実習最終日に事務所で支払いください。

6. 実習受入責任者・指導者

- ・ 実習受入責任者:田辺 隆広
- ・ 実習指導者:
影山直哉・田辺 隆広(社会福祉士担当)
新開 太郎(精神保健福祉士担当)
田辺 隆広(介護体験担当)

7. 現場担当職員

- ・ 実習中は、配属部署の職員が現場担当として付きます。
- ・ 実習内容は、原則としてスケジュールに基づいて行われますが、当日の状況に応じて変更されることもあります。指示に従って行動してください。

8. 実習内容

- ・ 希望がある場合は、遠慮なく受入責任者・指導者に申し出てください。
- ・ 利用者に関わる場合は、本人の同意が必要です。事前に職員に相談してください。

9. 実習ノート

- ・ 実習ノートは原則として翌日までに提出してください。
- ・ 指導者のコメントが 2～3 日遅れることがありますが、ご了承ください。

10. 健康上の注意

- ・ 体調が優れない場合は、遠慮せず申し出てください。
- ・ 感染症の疑いがある場合は、実習を中断・中止させていただく場合があります。必要に応じて養成校と協議します。

11. 実習中の事故

- ・ 事故が発生した場合は、すぐに現場担当職員または実習受入責任者・指導者に報告してください。
- ・ 事故とは、怪我・金品の紛失・物品の破損・トラブル等を含みます。

12. 利用者からの依頼

- ・ 実習時間内外を問わず、利用者から個別対応の依頼があった場合は、必ず職員に報告してください。

13. 秘密保持

- ・ 利用者から聞いた話は、施設職員以外に話さないでください。
- ・ 実習中に知り得た情報は、実習後も口外しないでください。利用者の人権を尊重してください。

14. 実習目標の発表・実習発表会

- ・ 毎朝の申し送りで、その日の目標を発表してください。職員はそれを共有し、指導に活かします。
- ・ 最終日には発表会を行います。学びや気づき、意見などを自分の言葉で表現できるよう準備してください。

【利用者との関わりについて】

1. 利用者の皆さんは、さまざまな人生経験を持っています。言葉遣いや態度には十分配慮し、尊厳を持って接してください。これは虐待の防止にもつながります。
2. 支援を行う際は、一人ひとりの障がいの状態を理解し、できる限り本人の意思を確認してください。思い込みや先回りした支援は、自立やエンパワメントを妨げる可能性があります。
3. 利用者のプライバシーを尊重してください。知り得た情報は実習記録に記載する際にも配慮し、仮名（A・B・C など）を用いて、個人が特定されないようにしてください。
4. 「救護施設 浦安荘」は利用者にとって生活の場です。実習生にとっては学びの場であっても、利用者からすれば日常生活の一部です。学習目的でプライベートな空間に関わらせていただくことに、感謝の気持ちを持って接してください。

ご不明な点があれば、遠慮なくお尋ねください。

実習が充実した学びの機会となるよう、心より願っております。